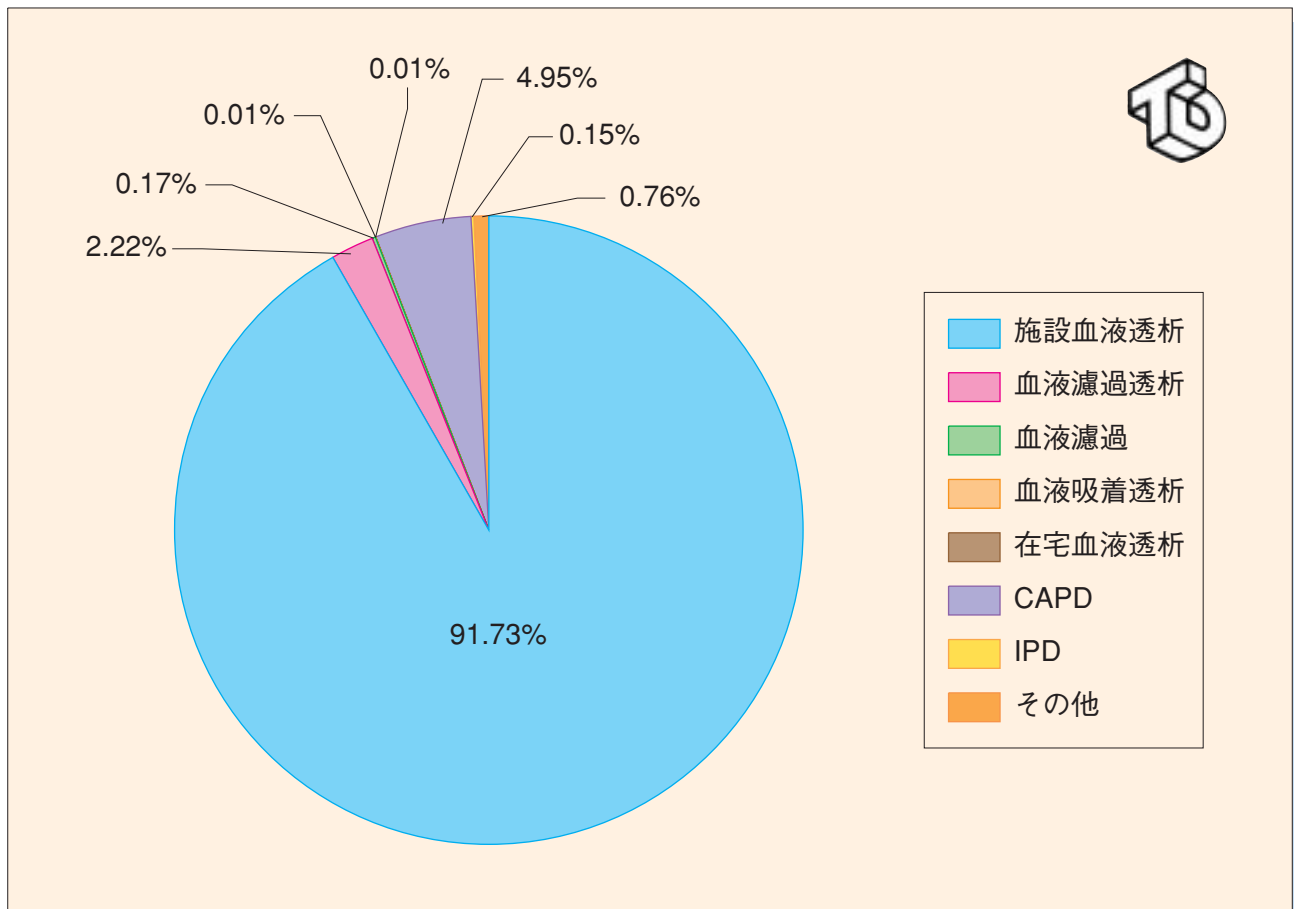


### 3) 新規透析導入患者調査の現状

2006年は17年ぶりに透析導入時検査データ、導入時病態の調査を行なった。ここでは調査内容の一部として、末期腎不全治療として選択した治療方法、透析導入時腎機能、ならびに透析導入時の主要症状を示す。なお2006年は初年調査のため、短期的予後（透析導入後1年以内での死亡などの短期的予後）に関する調査結果や詳細な解析結果については2007年末調査以降に行う予定である。

(1) 本年度導入調査対象の年末時点での治療形態 (図表35)



治療方法	施設血液透析	血液濾過透析	血液濾過	血液吸着透析	在宅血液透析	CAPD	IPD	その他	合計	記載なし	総計
患者数	26,209	634	48	2	3	1,414	43	218	28,571		28,571
%	91.73	2.22	0.17	0.01	0.01	4.95	0.15	0.76	100.00		

#### 解説

調査対象は、2006年新規透析導入患者のうち、FDにより回答をいただいた透析導入調査データの記載のあった透析導入患者28,571名（男性18,425名、女性10,140名）である。

2006年の透析導入患者の2006年末時点での治療方法を示す。全体の91.7%が血液透析、4.95%がCAPDであった。